



じゅうにげつかちょうず  
綴プロジェクト作品 十二月花鳥図 葛飾北斎筆

原所蔵：スミソニアン協会フリーア美術館 寄贈先：墨田区（収蔵先：すみだ北斎美術館）

Facsimiles of works in the collection of the Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C.: Gift of Charles Lang Freer, F1904.179-180.

北斎の技と個性が綴る日本の四季。

一扇にひと月ずつ植物と生き物を描いた六曲一双の屏風、「十二月花鳥図」。当時の絵師の間では、平安時代の歌人藤原定家の和歌になぞらえて描く伝統的な画題であった。しかし、そこは葛飾北斎。慣例を破り、歌には登場しない鶏、犬、狐などの身近な生き物も加え、生命感あふれる独自の図案に仕上げている。写実的な描写からは、鳥のさえずりや動物達の鳴き声まで聞こえてくるよう。成熟した技で新しい花鳥図を創造した。

原本はフリーア氏が一九〇四年に購入した北斎の肉筆画の一つで、所蔵するフリーア美術館でも人気の作品です。生き物の一瞬の動きや表情を捉える巧みな描写、花びら一枚一枚を緻密に再現する筆遣い。円熟期にはいった六十代の北斎の個性と技が詰まった屏風です。高精細複製品で、世界を魅了し続ける北斎の世界を間近にご覧いただけます。日本の美を、人へ、未来へ、伝えていく。



「綴プロジェクト」は、貴重な日本の文化財を高精細複製品として制作し、オリジナルの保存と複製品の公開を目的とする社会貢献活動です。本誌での作品のご紹介は、今回をもって終了いたしますが、今後も「綴プロジェクト」は、国内外の日本美術の高精細複製品を制作、広く公開、活用することで、日本の美を継承する活動を続けてまいります。



詳細は、公式サイト  
でご覧いただけます。  
[global.canon/ja/tsuzuri](http://global.canon/ja/tsuzuri)

公開情報

八月四日（火）～八月三十日（日）、同綴プロジェクト作品を、すみだ北斎美術館にて公開予定。詳細は美術館ホームページでご確認ください。

北斎、日本に帰る

Vol.12

綴プロジェクト作品（高精細複製品）  
『十二月花鳥図』 葛飾北斎筆

綴TSUZURI  
文化財未来継承プロジェクト

Canon